

きずな 2017

年も変わりひと月が過ぎました。2017年度も残り2ヵ月。3月・4月の忙しい時期を控え体調管理には十分気をつけてください。

さて、今回の「きずな」は、1月10日におこなわれた全道協議会の冬季セミナーと、1月12日におこなわれた上事協の冬季研修会に参加された方からの感想をいただきましたのでご覧ください。



経験年数の少ない事務職員のための

冬季セミナー参加者報告

富良野市立富良野東中学校 佐藤美優

天候の影響で到着が遅れてしまい、小樽市立銭函小学校に勤務されている先輩事務職員、杉本雅人さんの講座からの参加となりました。採用時を振り返って、当時の心境や、経験を重ねるにつれ行っていった実践などを紹介していただき、今私たちの目の前で講話をしているような方でも、採用当初は今の私たちと同じような気持ちだったのだと安心するとともに、自分は新しい実践へ積極的に取り組むことができるだろうかという不安も感じました。

グループ協議では、加配事務職員で1つのグループとなり、自分が担当している仕事内容や仕事の不安について交流しました。共通して不安に思っていることは、1人になった時の事を考えると漠然とした不安がある。というものでした。今行っている具体的な仕事の内容を交流し合うことで、何を理解できていないことが不安なのかが、少し明確になった気がします。

上川管内公立小中学校事務職員協議会

発行者 広報担当 柳原 拓也（富良野・東小）

第6号 2018, 2, 6

士別市立温根別小学校 林 龍之介

全道協議会主催の冬季セミナーに参加してきました。セミナーは「先輩事務職員からのお話」、「グループ討議・全体交流」といった流れで進んでいきました。

「先輩事務職員からのお話」では3名の先輩事務職員から、実践例や考え方などを交えて、採用されてから今までの振り返りを聞かせていただきました。3名の考え方に共通していると感じたのは、「挑戦してみる」ということでした。例えば、事務だよりを出してみる、子どもや保護者にアンケートをとってみるなどなど。また、挑戦しやすいよう、場を整えておくのが良いとのことでした。今は何か思いついても、一步踏み出すことができていないのが現状です。今後何か思いついたときは、場を整えつつ、思い切って挑戦してみようと思います。

「グループ討議」では数名のグループに分かれ討議を行い、その後全体で交流していくというものでした。多くのグループで話し合われていたのが事務だよりと備品要望についてでした。事務だよりではネタ不足や需要不明のため、発行できない・続かない、備品要望ではあまり要望があがってこないという悩みがあがりました。事務だよりではセンター便りをまとめたり、備品要望では普段からメモを取り、それをもとに先生方にアプローチをかけていくことで解消している人もいました。是非真似していきたいです。私自身同じ悩みを抱えていたので、他の人も同じ悩みを抱えていたことが分かり、少し安心できました。

今回のセミナーでは悩みを共有することで軽減することができました。これからは悩みを解消するため、少しずつでも色々なことに挑戦していきたいと思います。とても勉強になるセミナーでした。ありがとうございました。



佐藤さん、林さん、報告ありがとうございました。

このほかに、愛別中：宇佐美さん、富良野小：南さん、鳥沼小：塚本さん、南富良野中：坂本さんも参加しています。

参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。参加されていない新採のみなさんへの還流もお願いします。

経験年数の少ない事務職員のための

冬季研修講座参加者報告

名寄市立中名寄小学校 神元 美奈

愛別町立愛別中学校 宇佐美 悠哉

今回の研修講座に参加して、「学校事務運営計画」についてより深く学ぶことができました。以前の研修センター講座でも「学校事務運営計画」の交流があったため、運営計画の存在や記載内容はある程度理解していました。しかし、よく耳にする「二本立て学校事務運営計画」がどのように二本に分けられているのか、運営計画を見直すにあたってのポイントは何なのかについてはよくわかっていなかったため、今回の研修講座でのお話を聞くことができ良かったです。

「二本立て学校事務運営計画」を作成するにあたって、学校事務職員が担当している業務を、事務職員固有の業務である「本来的業務」と学校運営の分担業務である「分掌業務」の2つに分ける必要があるということがわかりました。そして、「本来的業務」と「分掌業務」を分けて計画化したものが「学校事務運営計画」と「事務部運営計画」であり、これらが二本立ての学校事務運営計画の中身であるということがわかりました。さらに、「学校事務運営計画」を「ひと・もの・かね」の3つの視点に当てはめたものが、上川が進める「学校事務運営計画」であるということを知りました。

今回の研修講座に参加して学んだことを活かして、次年度以降の「学校事務運営計画」に反映していきたいと思います。また、1度作成した「学校事務運営計画」に満足するのではなく、定期的に見直しをすることで業務の改善をし、よりよい学校づくりの実現を目指していきたいです。

私が事務職員（期限付）として働き始め、2年が過ぎようとしています。最初の1年目は、教えてもらいながら仕事をするといった様子で、先輩の事務職員の方々に、たくさん助けられました。今年度の4月からは、2年目に入り、自分自身としては余裕も出てきたと感じていました。ですが、今回の研修に参加し、他校の事務職員の方々のお話を聞いていると、皆さんすごく積極的にお仕事をされていると思いました。私はいつも、前任者の方がされていたことを参考にしながら、お仕事を進めていました。それも大事なことであると思うからです。ですが、私自身の個性をだしても全く構わないと感じています。

今年度も残りわずかとなりましたが、今からでもオリジナリティーのある事務職員として毎日頑張りたいです。

研修では、いろいろな人のお仕事ぶりを聞け、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。



18名の参加者のみなさん



藤崎会長と運営を担当した理事のみなさん



運営者報告

研修担当理事 葛西 賢人
(士別市立士別南中学校)

1月12日(金)の13:30から、上川教育研修センターで冬季研修講座を開催しました。今回の研修講座は、経験年数が3年未満の若年層の事務職員を対象としており、上事協からは10名、旭事協からも8名の参加者に参加していただきました。

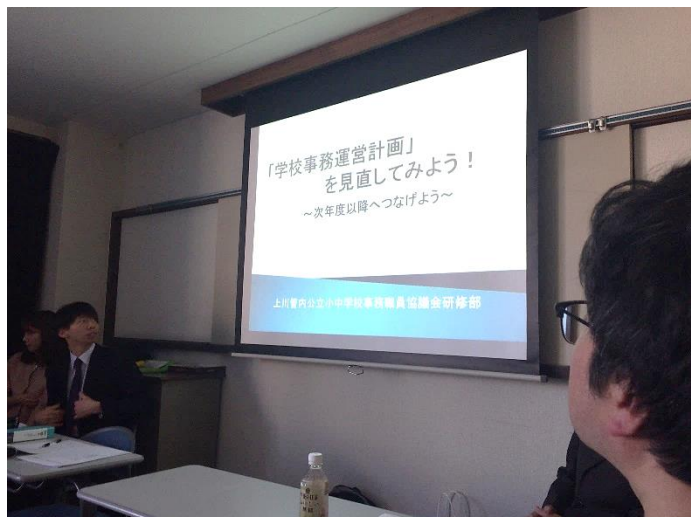
全参加者の自己紹介後、はじめに、実務研修「次年度学校事務運営計画について」のテーマを、富良野小学校の小林理事が担当しました。内容としては、学校事務の「本来的業務」と「分掌業務」を分けて計画化する「二本立て学校事務運営計画」のほか、「ひと的整備」「もの的整備」「かね的整備」の視点を加えた「学校事務運営計画」「学校事務年間計画表」作成などについてです。事後アンケートでも、参加者から『二本立て学校事務運営計画』の説明がわかりやすかった。

「自校でも運営計画を見直したい。」などの意見を多数いただきました。

次に、鷹栖小学校の坂本理事から、6月に実施された第127回管内事務研から半年が経過したことをふまえ、「管内事務研第4分散会パート2」を行いました。テーマとしては、日常業務、備品、事務だよりについて交流しました。今回は、旭事協からも参加者を募ったことで、各市町村や各校での課題や実践などについて、より幅広い意見交流ができたのではないかと思います。

最後に、事例交流として、幌加内中学校の原田理事の司会のもと、日常業務や実践で困っていることについて交流しました。今回は参加者から事前アンケートとして、質問事項を募り、研修理事が資料などを準備し、回答にあたる方式をとりました。事前アンケートの内容としては、①時間外勤務手当、②分掌業務、③旅費の校内配分、④文書管理、⑤年度末反省会義や新年度計画会議時の提案、⑥予算執行、⑦年度末、年度始業務、⑧学校諸費、⑨その他(旭事協から)など、多岐にわたるもので、十分な意見交流ができました。時間の都合上、交流できなかった内容につきましては、今年度より発足された、Webの「採用3年未満グループ」での交流につなげていきたいと思っています。

今回の研修講座を終えて、市町村を越えて、多くの会員と交流できたので、とても充実した研修講座になったと思います。個人としても、今回の研修講座で交流できたことを、自校で実践できるようにとりこんでいきたいです。



管内研のお知らせ

3月1日・2日の日程で、第128回研究大会が上川研修センターで開催されます。

今年度のまとめと次年度に向けた研究大会となりますので、多くのみなさんの参加をお願いします。

本日各市町村での締め切りとなっています。まだ申込をされていない方は、今すぐ市町村連絡員の方へ申し込みをお願いします。

大会終了後には総会も開催されますので、合わせてのご出席をお願いします。

今後の予定

- 2月7日(水) 研究集録原稿締切(原田理事)
- 9日(金) 理事研修会・研修部会
- 15日(木) 役員選挙立候補締切
- 3月1日・2日 研究大会(研修センター)